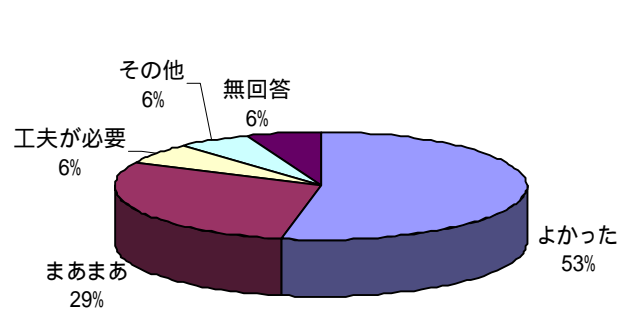


下大和駅西口まちづくり研究会だより 23号

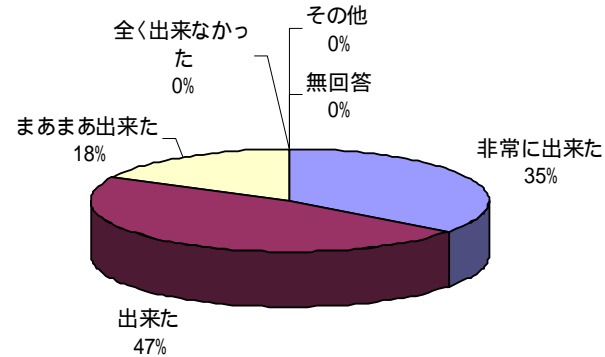
参加者アンケート結果

研究会終了後にいった参加者アンケートの結果です。(一部抜粋)

ワークショップの印象は？



VRによる将来イメージは？



自由意見(一部抜粋)

今までは一つのパーツで全体イメージが出来なかったが、全体のイメージが出来た。
 イメージが強くなる、上から横から見れて立体感がありよかった。
 立体的なので、現実感がありわかり易い。
 実際のイメージが非常によくわかる。
 具体的に確認できた。
 まちを想像しやすい。
 現実化が身にしみる。
 まちの変化が激しすぎる感じがする。
 駅前広場の奥行きがないと感じた(横広い)。
 店主は如何なお考えなのかということを疑問に思った。

次回のお知らせ

第24回下大和駅西口まちづくり研究会
 平成16年10月上旬 下大和公民館 午後7時

九州大学が作成したVRをもとに駅前ゾーン、バス通りを中心に下大和駅西口の将来のイメージを検討します。また、これまで皆さんと考えてきたビジョンを地域の方々に発表するためのシンポジウムに向けての準備も進めていく予定です。お誘い合わせの上是非ご参加下さい。

お問合せ先
 大野城市役所 都市計画課 街づくり担当
 高橋、寺崎、福田
 電話：501-2211(内線314,315)
 FAX：572-8432
 e-mail: kentoshi@city.onojo.fukuoka.jp

下大和駅西口まちづくり研究会
 ホームページ公開中！！
<http://city.onojo.fukuoka.jp/>
 西鉄沿線のまちづくりなど
 大野城の今がわかる情報が満載！！
 ぜひご覧になって下さい。

第23回 研究会開催！！

平成16年8月4日(水)第23回下大和駅西口まちづくり研究会を開催しました。

今回は、下大和駅周辺の整備事業を、九州大学有馬研究室が作成したVR(コンピューターで作成したイメージ)を見ながら確認しました。今まで言葉と、図面だけでイメージしていた将来の状況がVRでよりわかりやすく表現され、みんなで将来のイメージを考えるためのきっかけとなりました。その後、前回の議論をもとに作成したパースを見ながら、将来の下大和駅西口のイメージを議論していきました。

プログラム

- 19:00 開会
- 19:05 前回の振り返り
- 19:15 参加者紹介・グループ分け
- 19:35 10年後の下大和の姿
- 19:55 まちのイメージを考える
- 21:00 閉会



ビジョン策定までの流れ

第19回下大和駅西口まちづくり研究会

平成16年1月19日『まちを歩く』
 まちの魅力と問題点探そう！

第20回下大和駅西口まちづくり研究会

平成16年3月24日『課題の整理』
 解決すべき課題を探ろう！

第21回下大和駅西口まちづくり研究会

平成16年5月19日『人の動き、まちの姿』
 まちの骨格図をつくろう！

第22回下大和駅西口まちづくり研究会

平成16年6月23日『将来の姿』
 西口の将来をイメージしよう！

第23回下大和駅西口まちづくり研究会

平成16年8月4日『まちづくりに向けて』
 将来のために何が出来るだろう！

下大和駅西口
 まちづくりシンポジウム準備会

下大和駅西口
 まちづくりシンポジウム

下大和駅西口まちづくりビジョン策定

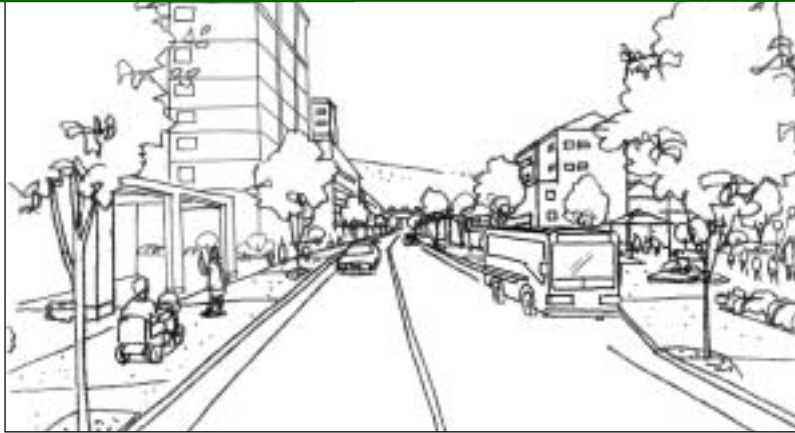
まちのイメージを考える

前回議論したまちのイメージより作成したパースをもとに、それぞれのゾーンと軸のイメージをさらに深めて議論していきました。



下大和南ヶ丘線

店舗や広場のある新しいまちの軸



- ・歩きやすい歩道
- ・バス停横のポケットパークが良い
- ・建物デザインのルールが欲しい
- ・店の看板が歩道に出していない
- ・電柱が無いのはスッキリと良い
- ・街路樹が美しい
- ・落ち葉は誰がかたづけるの
- ・店舗やマンションのある通り
- ・明るくオープンな通りが良い
- ・横断歩道等、分断への配慮が必要
- ・おしゃれで屋根のついたバス停

バス通り

賑わいのある、歩きやすいまちの商業軸



- ・両側歩道は必要
- ・車道と歩道との段差がない
- ・歩道の色は明るいもの
- ・車が遠慮する通り
- ・人があふれる通り
- ・荷下ろしのスペースは
- ・道路が直線過ぎて面白味に欠ける
- ・歩道は必要。一方通行はやむなし
- ・対面で離合できるようにする
- ・自主的なセットバックがあっても良いのでは
- ・建物が道路いっぱい建っているのはいい
- ・電柱は地下
- ・街路樹はなるべく多く
- ・食料品や日用品を売る親しみのもてる商店街
- ・道路を渡って行き来しやすい商店街
- ・商店街はのれんが下がっていたり、情緒のあるような昔懐かしい暖かいイメージに
- ・お店が密に連続
- ・もっと多くのストリートファニチャー

集落ゾーン

地域の魅力を活かす集落ゾーン



- ・庭木や蔵といった歴史的なものを公開しては
- ・住環境を守る工夫が必要(広い敷地、建物の種類)
- ・神社の緑を活かした公園
- ・休めるベンチ
- ・川沿いの散歩道が必要
- ・案内図があると良い
- ・水城駅下大和駅までのサイン

住宅ゾーン

安心して出歩ける高校のある住宅ゾーン



- ・開放性のある生垣、柵
- ・生垣が低いので、見通しが良く、安全性が確保できる
- ・通行人に見られている感じがする
- ・人に見られて目があう
- ・地域での防犯活動は必要
- ・高校とバス通りをつなぐ安全な道をつくる

複合ゾーン

みんなが集い、楽しめる複合ゾーン



- ・若い女性をひきつける甘味屋
- ・店舗の種類は要検討
- ・夜にぎわうのは迷惑ではないか
- ・若者がたむろする場所になっては困る
- ・バス通りと下南線をつなぐ広場
- ・駅前横町
- ・商店街のイベントができる広場
- ・マンション住民の憩える広場
- ・噴水等の水場
- ・大道芸人がパフォーマンスをして絵になる広場

駅前ゾーン

広場をいかした、安全で魅力あるまちの玄関口駅前ゾーン



- ・樹木がもっと増えるといい
- ・東口に人のたまる場所がないため、西口の駅前広場は重要
- ・もっと広い広場が欲しい
- ・ベンチなどの休憩場所
- ・大野城、下大和を実感できるシンボル・モニュメント
- ・イベントをすれば対外的に訴える力がある
- ・広場に面して店を置くべき
- ・防犯灯や交番が必要
- ・案内板が必要
- ・障害者用の屋根付駐車場は良い